

令和6年4月30日

令和5年度は、学校関係者評価委員会を令和5年6月24日、令和6年3月30日に園ホールにて対面で開催いたしました。学校関係者評価委員8名の皆様には「保護者アンケート結果」「教員自己評価結果」など資料を配布の上で発表させていただき、貴重なご意見を頂戴しました。さらに、委員皆様には後日項目ごとに、評価及びご意見やアドバイスを書面にて提出いただきました。その中から抜粋したものを以下に掲載いたします。

いただきましたご意見は真摯に受け止め、園運営を少しでも改善できるよう努めてまいります。

なお、項目ごとに頂いた評価はA…3点、B…2点、C…1点とし、総合点と平均値を記載します。

評価項目	評 価（本園の行った自己評価に対するご意見・ご感想）
重点目標 1 1-① 1-②	<ul style="list-style-type: none"> ●身支度など自分のことは自分でできるようにすることや、集団生活にはルールが必要であることを年少のうちから少しずつ学ぶことができていること、自立が求められつつ自由度の枠がきつくなる小学校の集団生活へ向かって、文京幼稚園は十分な準備ができていると思います。 ●保育の基本として、子どもが興味を持ったことに取り組むことが大事であるので、それを満足感や達成感に繋げていることを評価したいと思う。
評価(7名計) 20点 平均 【A】	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度の反省に基づき、きめ細かく取り組んでいることが教員や保護者のアンケートからも読み取れます。年少・年中・年長の評価指標も具体的なイメージが持てるように作られていて分かりやすいと思いました。 ●教員の取り組みの自己評価と保護者のアンケートの評価が概ね一致しており、教員の取り組みがしっかりと結果として現れていることが分かります。
重点目標 2 2-① 2-②	<ul style="list-style-type: none"> ●ネガティブな感情も受け取り、多様な感情が表出できるよう活動を工夫されていることに感服いたします。子どもの発達の個人差にもきちんと向き合っておられる対応が素晴らしい。 ●1年間を通して、気の合う友達だけでなく、活動によってはクラスを超えて関わる機会を多く設けている。そのことは、同学年が2クラス以上ある幼稚園ならではの活動であり、友達との関わりが広がると考える。
評価(7名計) 21点 平均 【A】	<ul style="list-style-type: none"> ●園での決まり事を無理矢理押し付けるのではなく、その必要性など丁寧に伝える保育者の姿が感じられる点の評価したいと思う。ただ、子どもによっては理解し行動に移せない子どももおり、集団としてどう考えていくのか、多様性の問題などこれから子ども達が生きていく社会での人との関わり方を保育者も一緒に学ぶ必要があると思われる。 ●この評価項目がコロナ禍の中で一番希薄となった項目であり、今後重点を置いて園の活動を展開していかなければならないと思います。一気にコロナ前のような活動に取り組む事はできないと思いますが、意図的・計画的に取り組んで欲しいと思います。
重点目標 3 3-① 3-②	<ul style="list-style-type: none"> ●創作活動も年齢に応じて、よく工夫されていると思います。また、演劇ワークショップ、畑などの栽培活動、日頃の英語活動や体操の時間なども、文京幼稚園が何を目標として力を入れているのかを外部へアピールするポイントにできていると思います。 ●子ども達が制限のない中で自由に表現できるという環境は、子ども達にとって幸せな場だと思います。発言・表現することには正解がない、ということを先生方が共有されていることが素晴らしいです。どうしてもその年齢に合った仕上がりを期待して評価をしがちです。
評価(7名計) 21点 平均 【A】	<ul style="list-style-type: none"> ●日本式教育の中で一番の特徴が非認知能力の育成です。その中でも幼稚園教育は世界からも大きな注目を浴びています。思いやり、優しさ、互いに助け合う心は遊びや園の活動を通して生まれます。意識的に取り組んでおられることを高く評価します。 ●・・・重点目標「一人ひとりの発想や思い、工夫する姿を受け止めたり、認めたりする」を具現化していて、見通しをもった活動になっている。
教員自己評価結果 1 保育内容の工夫 2 環境構成の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが取り組みたくなるような教材を用意し、例年にとらわれない保育は素晴らしい。遊びの環境構成も状況に合わせて再構成している点も素晴らしい。園全体が同じ目標をもって、ぶれない保育が行われている。保育者の思いを超える保育内容を子ども達と共に作っていただけるとより活発な楽しさに繋がり、園全体が明るくなりそうである。 ●子どもを中心とした教員の姿勢は、必ず子ども達のモチベーションを上げ、意欲を引き出す。保育内容の工夫、安全安心を第一に考えた環境の中での子ども達の成長を目の当たりにし、素晴らしいと感じる。

<p>評価 (7名計) 21点 平均 【A】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●教育目標、重点目標を達成できるように教員が保育内容を常に見直し改善を図っているのが、本園の特徴であると思っています。教育課程を常に意識した取り組みを続けて頂ければと思います。 ●例年やってきたことを踏襲するのではなく、今年度の子どもの実態に合わせて内容を考えることは、とても手間も時間もかかることだと思いますが、それが子ども達の経験や学びのために大事だと思います。
<p>教員自己 評価結果 3 幼児への対応 4 保護者への 対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●園での我が子の様子をもっと見たいという保護者の意見が多く見られ、参観の機会が増えればと思われま。 ●Instagramを通して園児の姿を保護者に伝えることで、より保護者との信頼関係に繋がると思われる。無理なく継続されると良い。保護者アンケートより、Instagramの更新をととても楽しみにしている様子の複数記載あり。 ●IT化が概ね成功しているようですので、あとは保護者の意見を参考に整えていくだけだと思います。・・・挨拶を交わす際に一言添えるように心がける、というのは気軽に行えますし、先生も保護者も双方構えることなく、気分が良いもの。良いコミュニケーションの取り方だと思います。 ●様々な家庭環境を抱えた園児や保護者への対応は年々難しくなっていると思います。支援の必要なお子さんも増えてきており、保護者への伝達の方法やタイミングは今後の課題であると思います。
<p>評価 (7名計) 20点 平均 【A】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯カメラ設置は犯罪の抑止になり、園の防犯に大変有効だと思われま。 ●教職員の方々の仕事を少しでも減らすために、保護者の手伝いを積極的に取り入れていただければと思います。 ●研修・研究の部分は、やはり教育に重点を置く幼稚園が、安全に長時間子どもを預かることを特色とする保育園と、大きく差を広げられる分野ではないかなと思います。文京幼稚園のアピールポイントになるといいと思います。 ●「働きやすい職場」を目指し、働き方改善として「退勤時間の見直し」「(新人を) 教員としてゆっくり育てていく」を目標に実践を進めていくことは教員の離職回避にも繋がると思われる。・・・今後取り組むべき課題の中に、心も体疲労が蓄積しないような仕事の仕方、つまり「働きやすい職場環境」を目指すために、教員同士がアイデアを出し工夫しながら、時間を意識して一年間に取り組んでいただきたい。
<p>教員自己 評価結果 5 研修と研究 6 安全管理 7 職場環境 学年チームの 関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯カメラ設置は犯罪の抑止になり、園の防犯に大変有効だと思われま。 ●教職員の方々の仕事を少しでも減らすために、保護者の手伝いを積極的に取り入れていただければと思います。 ●研修・研究の部分は、やはり教育に重点を置く幼稚園が、安全に長時間子どもを預かることを特色とする保育園と、大きく差を広げられる分野ではないかなと思います。文京幼稚園のアピールポイントになるといいと思います。 ●「働きやすい職場」を目指し、働き方改善として「退勤時間の見直し」「(新人を) 教員としてゆっくり育てていく」を目標に実践を進めていくことは教員の離職回避にも繋がると思われる。・・・今後取り組むべき課題の中に、心も体疲労が蓄積しないような仕事の仕方、つまり「働きやすい職場環境」を目指すために、教員同士がアイデアを出し工夫しながら、時間を意識して一年間に取り組んでいただきたい。
<p>評価 (7名計) 19点 平均 【B】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防犯カメラ設置は犯罪の抑止になり、園の防犯に大変有効だと思われま。 ●教職員の方々の仕事を少しでも減らすために、保護者の手伝いを積極的に取り入れていただければと思います。 ●研修・研究の部分は、やはり教育に重点を置く幼稚園が、安全に長時間子どもを預かることを特色とする保育園と、大きく差を広げられる分野ではないかなと思います。文京幼稚園のアピールポイントになるといいと思います。 ●「働きやすい職場」を目指し、働き方改善として「退勤時間の見直し」「(新人を) 教員としてゆっくり育てていく」を目標に実践を進めていくことは教員の離職回避にも繋がると思われる。・・・今後取り組むべき課題の中に、心も体疲労が蓄積しないような仕事の仕方、つまり「働きやすい職場環境」を目指すために、教員同士がアイデアを出し工夫しながら、時間を意識して一年間に取り組んでいただきたい。

総合評価

(7名計)

21点 平均 【A】